

# PF-CC805

ver.001

## 耐衝撃設計 41万画素屋外PTZカメラ 取扱説明書



取扱説明書

**JAPAN SECURITY SYSTEM**  
Safety and trust keep to the future



# 安全上のご注意

## 安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

### ■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。  
内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ■ 記号の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

## 警告

### ■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

お客様さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



### ■ 電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



禁止



### ■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よれを取り除いてください。



禁止

### ■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



禁止

### ■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。  
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

## ⚠ 注意

### ■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

### ■ めれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

### ■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



### ■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。  
●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



電源プラグを  
コンセントから抜け

### ■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜け

### ■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



## 付属の AC アダプターについて

## ⚠ 危険

### ■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



分解禁止

### ■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

### ■ めらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での  
使用禁止

## ⚠ 警告

### ■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

### ■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

### ■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

### ■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

### ■ めれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

## 付属の AC アダプターについて

### 警告

#### ■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



#### ■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

#### ■ AC アダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみがある場合は接続しない
- AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない  
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因となります。
- AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない  
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因となります。
- AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない  
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因となります。
- AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない  
ほこりなどにより、ショートや発熱が起これば火災の原因となります。  
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。  
ほこりの清掃  
AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと  
定格電力を超えると火災の原因となります。



禁止



ぬれ手禁止



### 注意

#### ■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



#### ■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。



禁止

#### ■ 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



禁止

#### ■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



禁止

### 警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



# 正しくご使用いただくために必ずお守りください

## ■ 本機（風防）のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

### ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

## ■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

## ■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。



- 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること  
カメラ本体ならびにコントローラーを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

# 目次

<u>1. はじめに</u>	特長	6
	製品及び付属品	7
	取付手順	8
<u>2. 初期設定</u>	ディップスイッチ設定	9
	ケーブル接続	11
<u>3. 各種操作項目</u>	操作前の確認事項	13
	プリセットおよびパターン機能事前確認	13
	OSDメニューを開く	14
	指定されているプリセット	14
	プリセット	15
	スイング	15
	パターン	16
	グループ	17
	その他の機能	18
	メインスクリーンのOSD表示	19
<u>4. OSDメニューの操作方法</u>	メニュー操作の一般的なルール	20
	メインメニュー	20
	表示設定	21
	プライバシーゾーンマスク設定	22
	カメラ一般設定	23
	モーション設定	25
	プリセット設定	26
	スイング設定	27
	パターン設定	28
	グループ設定	29
	アラーム設定	30
	システム初期化	31
<u>5. 製品仕様</u>	仕様	32
	製品図	33

## 特 徴

### カメラの特徴

- CCD センサー: 1/4 " Interline Transfer CCD
- ズーム倍率: 光学ズーム×12、デジタルズーム×16、(最大×192ズーム)
- デイ&ナイト機能搭載
- フォーカスモード: オートフォーカス/マニュアルフォーカス/セミオートフォーカス
- プリセット操作での独立および連動した設定が可能

### 強力なパンチルト機能

- 最大300度/秒の高速パン&チルト動作
- ベクタードライブテクノロジーによって、パン&チルト動作は最短パスを実現しました。対象物までの移動時間は劇的に短縮され、モニター画像はとても自然です。
- コントローラーでのジョグ操作はウルTRASロー速度 0.05度/秒まで到達可能なので簡単にカメラを対象物まで移動させることができます。さらに均整とれたズーム&パンチルト動作により、簡単にカメラを希望の位置へ動かすことができます。

### プリセット、パターン、スイング、グループ、プライバシーマスクなどたくさんの機能を搭載

- 最大127個のプリセットが指定可能です。また、個別に詳細な設定を行うことができます。
- 最大8個のスイングアクションを保存可能です。これによってカメラを指定速度で2個のプリセットポジションの間を繰り返し動かすことができます。
- 最大4個のパターンを記録し再生することができます。これによってカメラをジョイスティックで操作した軌道に限りなく近づけて動かすことができます。
- 最大8セットのグループアクションを保存出来ます。これによってカメラを繰り返しプリセットの組み合わせで動かすことができます。一つのグループは最大16個のプリセットで構成されます。
- 他人のプライバシーを侵害しない為に、プライバシーマスクをつけることができます。

### パン/チルト/ズーム コントロール

- RS-485接続で、最大255個のカメラを同時にコントロールすることができます。
- Pelco-DまたはPelco-Pをコントロールプロトコルとして選択することができます。

### OSDメニュー

- OSDメニューはカメラの状態を表示しての機能を双方向に設定する為のものです。
- カメラID、温度、パン/チルト角度、アラーム入力プリセットなどの情報が画面に表示されます。

## ■ 入力／出力機能

- 外部のノイズや振動を完全に取り除くために、アラームセンサー入力はフォトカプラと分離されています。
- アラーム入力にはドライ接点を使用します。
- 外部センサーが作動している場合、カメラは呼応するプリセットポジションに移動するように設定することができます。

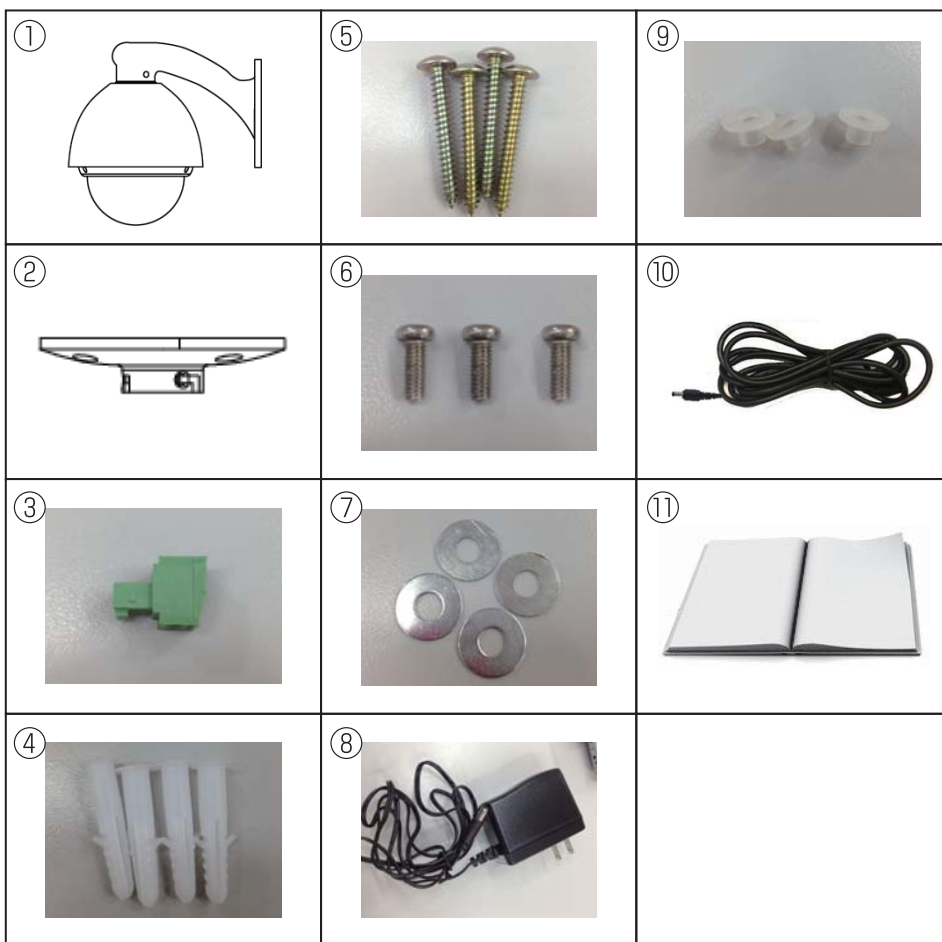
## ■ 特殊な用途に応じた保存されたプリセット

- ほとんどのカメラの特徴は簡単且つ直接OSDメニューに入らずに保存されたプリセットで設定することができます。詳細はこの取扱説明書の「保存されたプリセット」を参照してください。

## ■ 製品及び付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

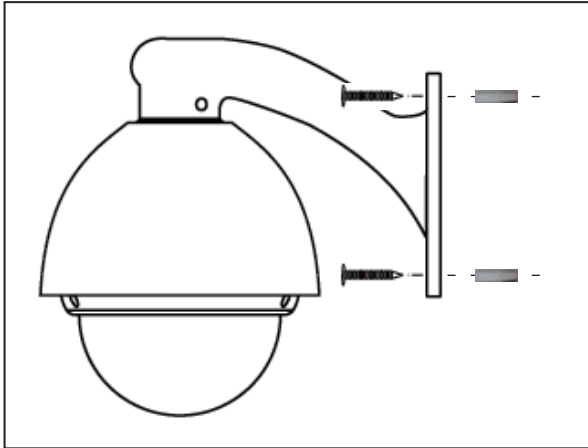
- |               |                   |                 |
|---------------|-------------------|-----------------|
| ①カメラ本体×1      | ⑤天井取付ビス (大) ×4    | ⑨ブラケット取付ワッシャー×3 |
| ②吊下げ型ブラケット×1  | ⑥ブラケット取付ビス (小) ×3 | ⑩ACコード          |
| ③ターミナルコネクタ×1  | ⑦ワッシャー×4          | ⑪取扱説明書(本書)      |
| ④天井取付ビスアンカー×4 | ⑧電源アダプタ×1         |                 |



## 取付手順

### ■壁面取付の場合

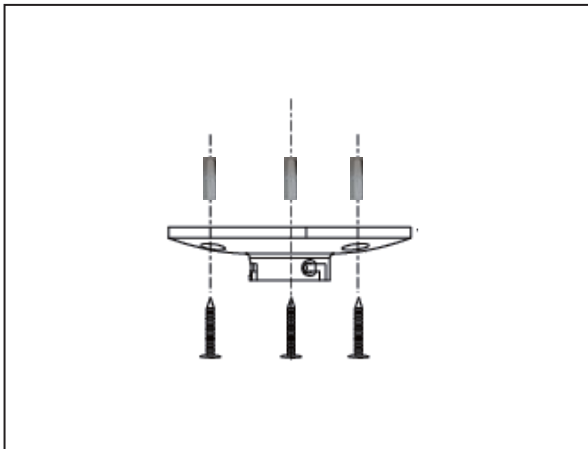
1、壁面に取り付けます。



取付ビス (大) × 4  
取付ビスアンカー × 4

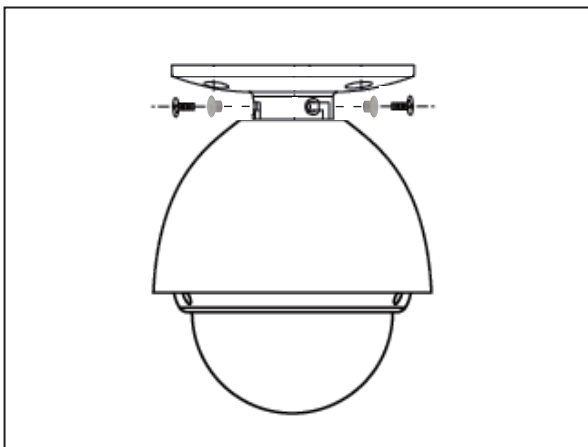
### ■天井取付の場合

1、天井に据え付けベースを取り付けます。



取付ビス (大) × 3  
取付ビスアンカー × 3

2、据え付けベースにカメラ本体を取り付けます。



ブラケット取付ビス (小) × 3  
ブラケット取付ワッシャー × 3

## ■ ディップスイッチ設定

カメラを取り付ける前に、カメラIDや接続ボードレートを構成するディップスイッチを設定する必要があります。

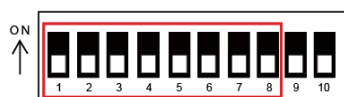
Camera ID

Communication Baud Rate

PIN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
FUNC.	A0	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	Baud Rate	
ON	1	2	4	8	16	32	64	128	Refer to	
OFF	0	0	0	0	0	0	0	0	the Manual	

### ▶ カメラID設定

- カメラのIDの数は2進数に設定されています。  
例は下記を参照してください。



PIN	1	2	3	4	5	6	7	8
ID Value	1	2	4	8	16	32	64	128
OSD menu setup	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ex ) ID=5	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
ex ) ID=10	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF

- IDは1～255までであり、工場出荷時のデフォルトカメラIDは「1」です。
- 特定のカメラをコントロールしたい場合は、カメラIDをDVRやコントローラーのカメラIDと合わせなければいけません。
- ディップスイッチがすべてオフに設定されると、スピードドームカメラは、OSDメニューを通してIDアドレスやポートレートを変更することが出来ます。

## ▶ 接続ボーレート設定

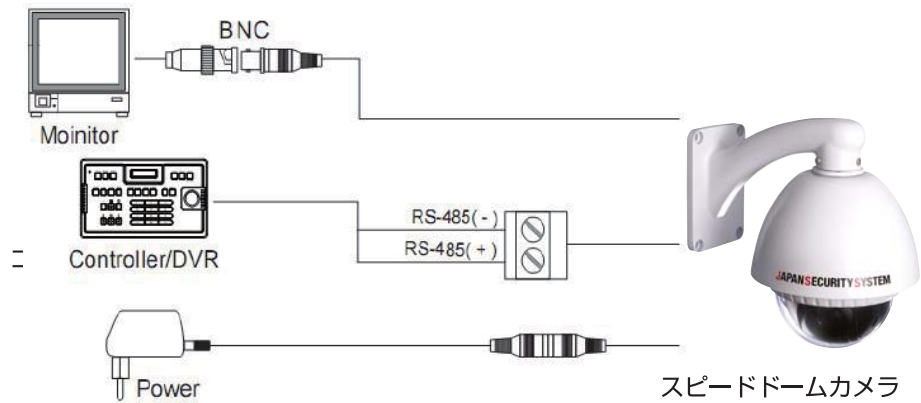


- ディップスイッチの組み合わせで正しいボーレートを  
選択します。

スキッチの状態		ボーレート
P9	P10	
OFF	OFF	default 2400 bps
ON	OFF	2400 bps
OFF	ON	4800 bps
ON	ON	9600 bps

- DVR またはコントローラーを使用してコントロール  
したい場合プロトコルはカメラと一致していなければ  
いけません。そうでなければカメラをコントロール  
することは出来ません。
- ディップスイッチを変更してカメラのプロトコルを  
変更した場合、その変更はカメラを再起動した後に  
有効になります。
- 工場出荷時のデフォルトボーレートは “2400bps”  
です。OSD メニューで変更することが出来ます。
- スピードドームカメラは自動的に Pelco-D または  
Pelco-P を検出します

## ケーブル接続



ターミナルブロックのケーブル接続

### ▶ 電源接続

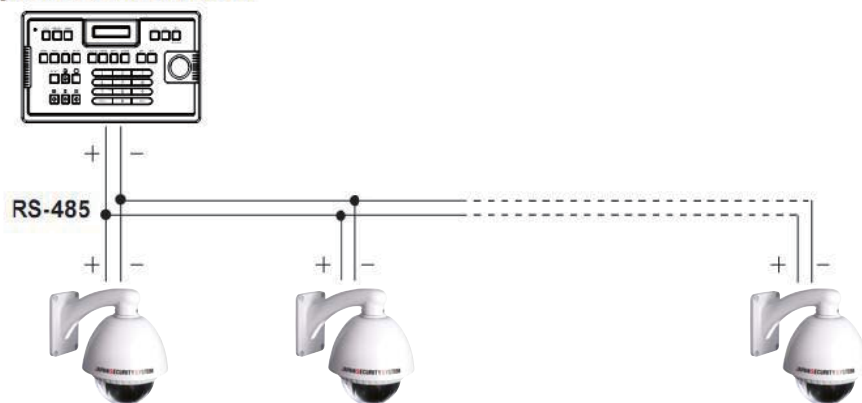
- 定格出力の電圧と電流の容量をしっかりと確認して下さい

定格出力	入力電圧レンジ	電力消費量
DC 12V	12V(±1V)	0.8A

### ▶ RS-485 接続

- PTZ のコントロールには、この配線をキーボードコントローラーや DVR に接続します。  
下記のように RS-485 接続ケーブルを並行に接続します。

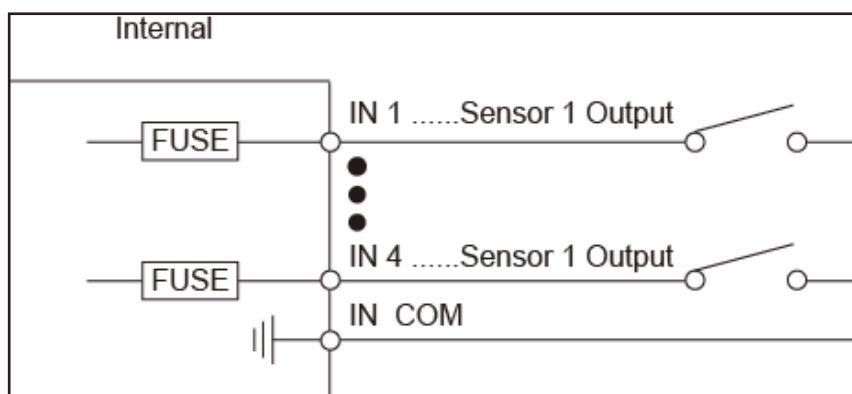
キー Keyboard Controller/DVR



▶ビデオ接続

- BNC ケーブルと接続します。

▶アラーム入力



シグナル	説明
IN COM	アラームの通常接点
IN1-,IN2-,IN3-, In4-,	アラーム入力シグナル

自動的にアラーム入力の状態（NO または NC）を検出します。

ノーマルオープンやノーマルクローズの定義は下記の通りです。

◎ノーマルオープン	アラーム入力と通常接点はつながっていません。
◎ノーマルクローズ	アラーム入力と通常接点がつながっています。

## 操作前の確認事項

- 電源を入れる前に、しっかりとケーブルを確認して下さい。
- コントローラーのカメラ ID は対象カメラの ID と一致していなければなりません。  
カメラ ID はカメラのディップスイッチを見て確認することが出来ます。
- コントローラーがマルチプロトコルに対応している場合、カメラのプロトコルと一致させなければなりません。
- ディップスイッチを変更してカメラのプロトコル変更した場合、その変更はカメラを再起動した後に有効になります。
- 操作方法はコントローラーによって異なるので、カメラが正しくコントロールされない場合はコントローラーのマニュアルを参照して下さい。このマニュアルの操作は標準的な Pelco コントローラーに基いています。

## プリセットおよびパターン機能事前確認

- カメラをきちんと操作する為に事前にコントローラーや DVR でのプリセットおよびパターン機能の操作方法を確認して下さい。
- 標準的な Pelco プロトコルのコントローラーを使用する際には下記の表を参照して下さい。

プリセットに移動	[call] を押し、呼び出したいプリセット番号を押し [Enter] を押します。
プリセットを設定	[Preset] を押し、プリセット番号を入力し [Enter] を押します。
パターンを実行	[Call] を押し、呼び出したいパターン番号を入力し [Enter] を押します。
パターンを設定	“パターン設定” の項を参照して下さい。

- コントローラーや DVR にパターンのボタンや機能がない場合には、プリセット番号でショートカットキーを使用して下さい。より詳しい説明は、このマニュアルの「指定されたプリセット」の項を参照して下さい。

## OSD メニューを開く

- 機能 OSD メニューを使用すると、プリセット、パターン、スイング、グループおよびアラーム入力機能をそれぞれのアプリケーションに構成することが出来ます。
- メニューに入る <call> を押し、プリセット番号〔95〕を入力して <Enter> を押します。

## 指定されているプリセット

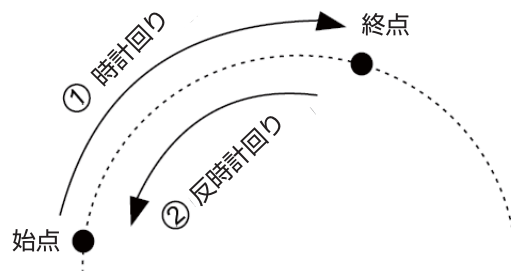
- 説明 いくつかのプリセット番号は特別機能に指定されています。
- 機能 <Call> [95]<Enter> : OSD メニューに入ります。  
<Call> [131~134]<Enter> : パターン機能 1 ~ 4 を実行します。  
<Call> [141~148]<Enter> : スイング機能 1 ~ 8 を実行します。  
<Call> [151~158]<Enter> : グループ機能 1 ~ 8 を実行します。  
<Call> [200]<Enter> : 最小角の主走査を実行します。  
<Call> [160]<Enter> : アラームをオンに設定します。  
<Call> [161]<Enter> : アラームをオフに設定します。  
<Call> [170]<Enter> : カメラの BLC モードをオフに設定します。  
<Call> [171]<Enter> : カメラの BLC モードをオンに設定します。  
<Call> [174]<Enter> : カメラのフォーカスモードをオートに設定します。  
<Call> [175]<Enter> : カメラのフォーカスモードを手動に設定します。  
<Call> [176]<Enter> : カメラのフォーカスモードをセミオートに設定します。  
<Call> [177]<Enter> : デイ & ナイトモードをオートに設定します。  
<Call> [178]<Enter> : デイ & ナイトモードを夜間に設定します。  
<Call> [179]<Enter> : デイ & ナイトモードを日中に設定します。  
<Call> [190]<Enter> : OSD 表示モードをオートに設定します。  
(プライバシーマスク以外)  
<Call> [191]<Enter> : OSD 表示モードをオフに設定します。(プライバシーマスク以外)  
<Call> [192]<Enter> : OSD 表示モードをオンに設定します。(プライバシーマスク以外)  
<Call> [193]<Enter> : すべてのプライバシーマスクの表示をオフに設定します。  
<Call> [194]<Enter> : すべてのプライバシーマスクの表示をオンに設定します。

## ■ プリセット

- 機能 MAX127 個のポジションをプリセットポジションとして保存すること出来ます。  
プリセット番号には 1 ~ 128 の番号が割り当てられますが 95 は OSD メニューを開くために指定されています。
- プリセット設定 〈Preset〉〔1 ~ 128〕→〈Enter〉（〔95〕以外）
- プリセット実行 〈Call〉〔1 ~ 128〕→〈Enter〉（〔95〕以外）
- プリセット削除 プリセットを削除するには OSD メニューを使用します。  
〈カメラ設定〉→〈プリセット設定〉→〈プリセット削除〉

## ■ スイング

- 機能 スイング機能を使用すると、カメラを 2 個のプリセットポジションの間で繰り返し動かすことが出来ます。つまり、スイング機能が実行されているとカメラは始点に割り当てられたプリセットから、終点に割り当てられたプリセットに時計回りに移動します。それから、カメラは終点に割り当てられたプリセットから始点に割り当てられたプリセットに反時計回りに移動します。



スピードは 1 度/秒から 180 度/秒まで設定することが出来ます。

- スイング設定 スイングを設定するには OSD メニューを使用します。  
〈カメラ設定〉→〈スイング設定〉
- スイング実行 (例) 1 番目のスイングを実行する 〈Call〉〔141〕〈Enter〉  
(例) 2 番目のスイングを実行する 〈Call〉〔142〕〈Enter〉
- スイング削除 スイングを削除するには OSD メニューを使用します。  
〈カメラ設定〉→〈スイング設定〉→〈スイング削除〉

## II パターン

- 機能

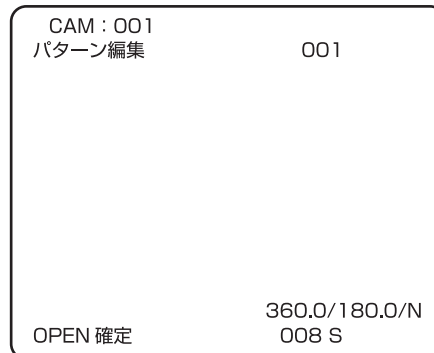
パターン機能はカメラに指定の時間内のパス（たいてい曲線）をコントローラーのジョイスティックで記憶させ、再現する機能です。

4個のパターンが使用でき、最長 150 ～ 180 秒、または 500 の通信コマンドをひとつのパターンに保存することが出来ます。

- パターン設定

〈カメラ設定〉→〈パターン設定〉→〈パターン編集〉

□パターン編集スクリーンが下記のように表示されます。



□ ジョイスティックの動きやプリセット動作をパターンに記憶させることが出来ます。

□ 録画時間は右下コーナーに表示されます。

(MAX150 ～ 180 秒または 500 コマンド)

□ 録画を保存するには OPEN キーを押します。

- パターンを実行する (例) パターン1実行 〈Call〉→[131]→〈Enter〉

(例) パターン2実行 〈Call〉→[132]→〈Enter〉

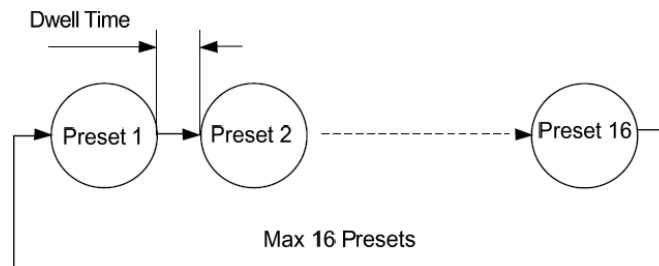
- パターン削除 パターンを削除するには OSD メニューを使用します。

〈カメラ設定〉→〈パターン設定〉→〈パターン削除〉

## II グループ

- 機能

グループ機能は1連のプリセットを実行する機能で最大8個のグループを保存出来ます。  
それぞれのグループは最大 16 個のプリセットを設定可能で、グループ設定から設定を行えます。  
アクション間の停止時間も設定出来ます。



- グループ設定   グループを作成するには OSD メニューを使用します。  
〈カメラ設定〉→〈グループ設定〉→〈グループ編集〉
- グループ実行   (例) グループ 1 を実行する 〈Call〉→{151}→〈Enter〉  
                  (例) グループ 2 を実行する 〈Call〉→{152}→〈Enter〉
- グループ削除   グループを削除するには OSD メニューを使用します。  
                  〈カメラ設定〉→〈グループ設定〉→〈グループ削除〉

## II その他の機能

### ● パワーアップアクション

この機能は電源が落ちる前に最後に実行していたアクションを再開する機能です。プリセット、パターン、スイング、およびグループ機能は再開することが出来ますが、ジョグアクションは再開出来ません。  
〈カメラ設定〉→〈モーション設定〉

### ● オートフリップ

チルト角度が 90 度に達すると自動的に被写体を天地反転させる機能です。  
〈カメラ設定〉→〈モーション設定〉

### ● パーキングアクション

コントローラーをしばらく操作しないと自動的にカメラを特定のポジションに置く機能です。滞留時間は 3～240 秒の間に指定出来ます。  
〈カメラ設定〉→〈モーション設定〉→〈パーキングアクション設定〉

### ● ホームプレイス

カメラを最適な状態に調整する機能です。

### ● プライバシーゾーンマスク

プライバシー保護の為、最大 8 個のプライバシーマスクを任意の場所に作成し、窓や店や個人宅などを隠すことが出来ます。球座標システムにより強力なプライバシーゾーンマスク機能が可能です。  
〈表示設定〉→〈プライバシーゾーン〉

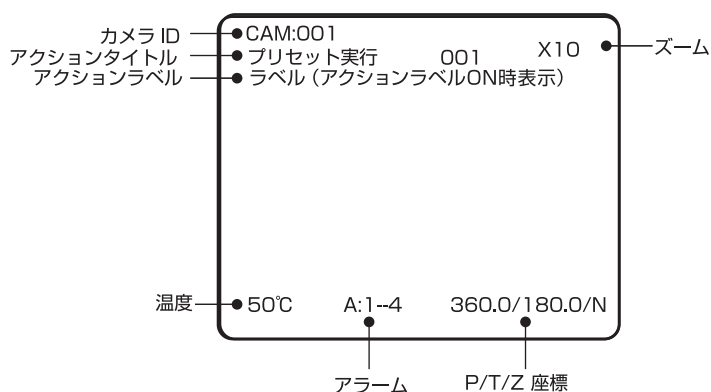
### ● グローバル／ローカルイメージ設定

WB（ホワイトバランス）、AE（自動露出）、明るさ（1～100）を個別に

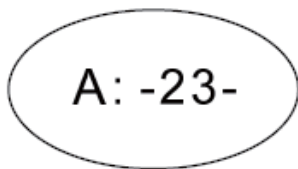
### ● セミオートフォーカス

フォーカスモードを手動フォーカスとオートフォーカスの間で自動的に切り替えるモード  
手動フォーカスモードはプリセット操作で作動し、オートフォーカスはジョグ操作中に作動します。プリセットの手動モードで、フォーカスデータは事前にそれぞれのプリセットに記憶されており、カメラがプリセットに到達するとプリセットに対応するフォーカスデータを呼び出します。焦点を合わせる時間を短くするでしょう。  
ジョグ操作が始まると、自動的にオートフォーカスモードに切り替わります。

## メインスクリーンの OSD 表示



- P / T / Z 座標      現在のパン・チルト角度や方位
- カメラ ID            現在のカメラ ID (アドレス)
- アクションタイトル    下記は可能性のあるアクションタイトルとその意味です。  
                                   “シーン編集 xxx”    プリセット xxx を保存する時  
                                   “プリセット実行 xxx”    カメラがプリセット xxx に達した時  
                                   “パターン実行 x”    パターン xxx 実行中  
                                   “スウィング実行 x / グループ実行 xxx”    スウィング x / グループ xxx 実行中  
                                   “xxxxxxERRORxxx”    未定義の機能が呼び出された時
- アクションラベル      特定のプリセットやパターンやグループ用に保存されたラベルです。
- アラーム入力          <屋外用ミニモデル>  
                                   この情報はアラーム入力の現在の状態を表しています。入力ポイントが  
                                   オンの場合、それぞれのポイントに対応する番号を表示します。入力ポイントが  
                                   オフの場合 ‘ \_ ’ が表示されます。  
                                   (例) ポイント2と3の入力がオンの場合下記のように OSD メニューに表示されます。

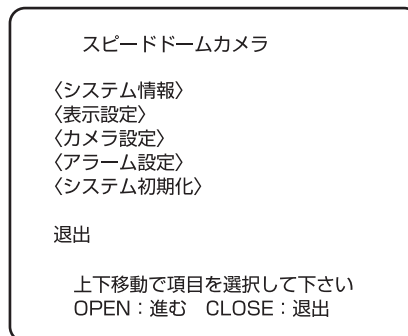


- 温度                    カメラ内部の温度を表示します。

## メニュー操作の一般的なルール

- <>で囲まれたメニューアイテムにはサブメニューがあります。
- 全てのメニューレベルでサブメニューに入るには、OPEN キーを押すかジョイスティックを右に動かします。
- ひとつ前のメニューに戻るには CLOSE キーを押すかジョイスティックを左に動かします。
- メニューのアイテムからアイテムへ移動するには、ジョイスティックを上下に動かします。
- アイテムの設定値を変更するには、コントローラーのジョイスティックを上下に動かします。
- 変更をセーブするには OPEN キーを押すか、ジョイスティックを右に動かし、変更を取り消すには CLOSE キーを押すかジョイスティックを左に動かします。

## メインメニュー



- |          |  |
|----------|--|
| ●システム情報  | システムインフォメーションと構成を表示します。                  |
| ●表示設定    | メインスクリーンの OSD 表示を有効／無効にします。              |
| ●カメラ設定   | このカメラの様々な機能を設定します。                       |
| ●アラーム設定  | アラームを設定します。                              |
| ●システム初期化 | システム設定を初期化し、すべてのデータを工場出荷時のデフォルト 設定に戻します。 |

## 表示設定

〈表示設定〉	
カメラ ID	オン
PTZ 座標	オフ
アクションタイトル	オート
アラーム入力	オート
温度	オート
〈方向指示〉	
〈プライバシーゾーン〉	
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい	
OPEN : 進む CLOSE : 退出	

このメニューはメインスクリーンの OSD 表示を有効／無効にします。

オートに設定されている場合、設定値が変更された時のみ

アイテムが表示されます。

- カメラ ID            [オン/オフ]
- PTZ 座標            [オン/オフ/オート]
- アクションタイトル [オン/オフ/オート]
- アラーム入力        [オン/オフ/オート]
- 温度                  [オン/オフ/オート]

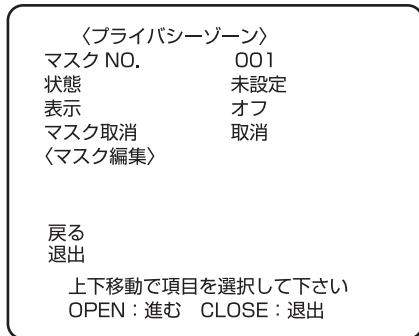
〈表示設定〉	
カメラ ID	オン
PTZ 座標	オフ
アクションタイトル	オート
アラーム入力	オート
温度	オート
〈方向指示〉	
〈プライバシーゾーン〉	
戻る	
退出	180.0/0.0/S
PTZ の操作には	
OPEN : 確定 CLOSE : 退出	

### ■ 方向指示

方位を決める為に基準として北を設定します。  
コンパス等で正確な北の位置にカメラが向くように  
カメラを動かし OPEN ボタンを押してセーブします。

## ■ プライバシーゾーンマスク設定

〈表示設定〉→〈プライバシーゾーン〉



マスクをかけるエリアを選択します。

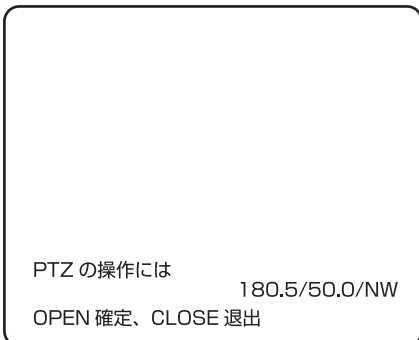
- Mask No [1~8]  
マスク No を選びます。選択したマスクにすでにデータがある場合、カメラは設定されている通りに動作します。そうでなければ“マスク No”の下に“未定義”が表示されます。

- 表示 [オン/オフ]  
映像上のマスクの表示/非表示を設定します。

- マスク取消 [取消/OK]  
選択されたマスク No のデータを削除します。

### ■ プライバシーゾーンエリア設定

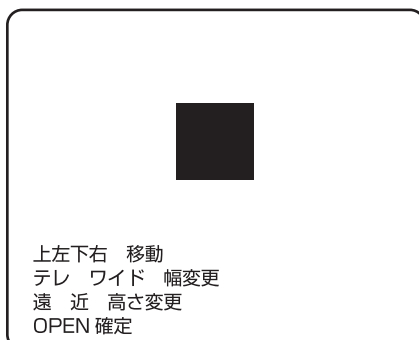
〈表示設定〉→〈プライバシーゾーン〉→〈マスク編集〉



- カメラをマスクをかけるエリアに動かします。  
次にマスクのサイズ調整するメニューが表示されます。
- OPEN を2回押すと、マスクのサイズを調整するメニューが表示されます。

### ■ プライバシーゾーンサイズ調整

マスクのサイズを調整します。ジョイスティックまたは矢印を使用します。



- ◀ ▶ (傾斜/幅) マスクの幅を調整します。
- ▲ ▼ (遠近) マスクの高さを調整します。

## ▶ カメラ一般設定

〈カメラ一般設定〉  
フォーカスモード セミオート  
アイリスモード セミオート  
デジタルズーム オフ  
デイ/ナイト オート  
SSDR オン  
〈ホワイトバランス設定〉  
〈自動露出設定〉  
戻る  
退出  
上下移動で項目を選択して下さい  
OPEN：進む CLOSE：退出

〈カメラ設定〉→〈カメラ一般設定〉

カメラの一般的な機能を設定します。

- フォーカスモード〔オート/手動/セミオート〕

カメラのフォーカスモードを設定します。

- セミオートモード

フォーカスモードを手動フォーカスとオートフォーカスの間で自動的に切り替えるモードです。手動フォーカスモードはプリセット操作で作動し、オートフォーカスモードはジョグ操作中に作動します。プリセットの手動モードで、フォーカスデータは事前にそれぞれのプリセットに記憶されており、カメラがプリセットに到達するとプリセットに対応するフォーカス

- アイリスモード〔オート/手動/セミオート〕

カメラのアイリスモードを設定します。

- デイ & ナイト〔オート/日中/夜間〕

カメラの日中/夜間モードを設定します。

- デジタルズーム〔オン/オフ〕

デジタルズーム機能をオン/オフに設定します。

オフに設定されている場合は光学ズーム機能が作動しますが、光学ズームの最大倍率に達すると停止します。

〈ホワイトバランス設定〉  
ホワイトバランスモード オート  
赤色レベル 132  
青色レベル 133  
戻る  
退出  
上下移動で項目を選択して下さい  
OPEN：進む CLOSE：退出

### ■ ホワイトバランス設定

〈カメラ設定〉→〈カメラ一般設定〉→〈ホワイトバランス設定〉

- ホワイトバランスモード〔オート/手動〕

手動モードでは、赤および青レベルは手動で設定されます。

- 赤レベル調整 [50～200]

- 青レベル調整 [50～200]

〈自動露出設定〉	
逆光補正	オフ
明るさ	050
シャッター	デフォルト
シャッタースピード	1/250
AGC	高
SSNR	中
SENS UP	オン
SENS UP リミット	000
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい	
OPEN : 進む CLOSE : 退出	

## ■自動露出設定

〈カメラ設定〉→〈カメラ一般設定〉→〈自動露出設定〉

●逆光補正 [高/ノーマル/オフ]  
逆光補正を設定します。

●明るさ [0 ~ 100]

映像の明るさを調整します。アイリス、シャッタースピード、ゲインを設定値に合わせて自動的に調整します。

●シャッター [デフォルト/手動/ A.FLK]

ちらつきを取り除く為にシャッタースピードが A.FLK に設定されている場合、シャッタースピードは NTSC では 1 / 100 秒、PAL では 1 / 120 秒に設定されるでしょう。

●AGC [高/中/低/オフ]

(オートゲインコントロール)

映像信号の輝度レベルが低すぎる場合に、自動的に明るさを高めます。

●SSNR [オフ/低/中/高]

映像のゲインレベルが高すぎる際に、映像のノイズを減らし映像の質を高めます。

●SENS-UP [オン/オフ]

映像の輝度が暗すぎる際にスローシャッター機能を作動させます。スローシャッター機能で幾重にも重なったフレームの最大数を設定することが出来ます。

●SENS-UP [0 ~ 11]

シャッタースピードを増加/減少することで SENS-UP リミットを構成することが出来ます。

## II モーション設定

〈モーション設定〉	
モーションロック	オフ
パワーアップアクション	なし
オートフリップ	オフ
左右反転	オフ
ジョグ方向	ノーマル
ジョグ最速	250
プリセット一時停止	オフ
〈パーキングアクション設定〉	
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい	
OPEN：進む CLOSE：退出	

〈カメラ設定〉→〈モーション設定〉

パン／チルトの一般的な機能を設定します。

●モーションロック〔オン／オフ〕

グループ。それらの機能のみ実行可能です。  
それらの機能を設定または削除するには、  
OSDメニューに入ります。

●パワーアップアクション〔北／グループ／パターン／スイング〕

“その他の機能”の項を参照して下さい。

●オートフリップ〔オン／オフ〕

“その他の機能”の項を参照して下さい。

●左右反転〔オン／オフ〕

左右に反転させます。

●ジョグ方向〔逆方向／ノーマル〕

“逆方向”に設定すると、スクリーンの映像は  
ジョグの傾きと同じ方向に動きます。  
“ノーマル”が選択されている場合、スクリー  
ンの映像は反対方向に動きます。

●ジョグ最大スピード〔1度／秒～300度／秒〕

ジョグの最大スピードを設定します。  
ジョグスピードはズーム倍率に反比例します。  
ズーム倍率が上がるにつれてパン／チルトの  
スピードは下がります。

●プリセット一時停止〔オン／オフ〕

プリセット動作の始点でカメラは始点の映像を表示  
し続け、プリセット動作中の映像は表示しません。  
カメラがプリセット終点に達すると、ライブ映像を  
表示し始めます。この機能の有効性はカメラ機種に  
よって異なります。

〈パーキングアクション設定〉  
停止時間 5 秒  
パーキングアクション なし

戻る  
退出

上下移動で項目を選択して下さい  
OPEN : 進む CLOSE : 退出

## ■パーキングアクション設定

〈カメラ設定〉→〈モーション設定〉→〈パーキングアクション設定〉

この機能がオンに設定されている場合、カメラは指定の“停止時間”中に PTZ コマンドがなくても、自動的に指定された機能を実行します。

### ●停止時間 [003 ~ 240 秒]

停止時間は“xxx 秒”形式で表示され、ジョイスティックやキーボードで変更出来ます。

### ●パークアクション [なし/パターン/スイング/グループ]

(例) パークアクションをホームに設定している場合、カメラは指定された時間の間中 PTZ コマンドがなければホームポジションに移動します。

## ■プリセット設定

〈プリセット設定〉  
プリセット NO. 001  
状態 設定 / 未設定  
プリセット削除 取消  
全プリセット削除 取消  
〈シーン編集〉  
〈ラベル編集〉

戻る  
退出

上下移動で項目を選択して下さい  
OPEN : 進む CLOSE : 退出

〈カメラ設定〉→〈プリセット設定〉

### ●プリセット No [1 ~ 128] ([95] 以外)

選択されたプリセットがすでに定義されている場合、カメラは予め決められた位置へ移動します。もし選択されたプリセットが定義されていない場合、モニターには“未定義”と表示されます。

### ●プリセット削除 [取消 / OK]

現在のプリセットデータを削除します。(編集ラベルも含まず)

### ●全プリセット削除 [取消 / OK]

全てのプリセットデータを削除します。  
(編集ラベルも含まず)

### ●シーン編集

ジョイスティックでカメラを希望の位置まで動かして現在のプリセットシーンポジションを再定義します。現在の PTZ データを保存するに OPEN を押します。

### ●ラベル編集

プリセット実行中にモニター上に表示するラベルを編集します。最大 18 文字のアルファベットまで可能です。ラベル編集の項に入ると、“?”カーソルがスクリーンに表示されます。ジョイスティックを上下に動かし文字を選択し、ジョイスティックを左右に動かしてカーソルを動かします。

## スイング設定

〈スイング設定〉	
スイング NO.	001
開始位置	
終了位置	
状態	未設定
スイングスピード	020
スイング削除	取消
スイング実行	
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい OPEN：進む CLOSE：退出	

〈カメラ設定〉→〈スイング設定〉

- スイング No [1 ~ 8]  
編集するスイング No を選択します。
- 始点  
スイング機能用に 2 つのポジションを設定します。
- 終点  
選択されたプリセットが定義されていない場合  
“UNDEFINED” が表示されます。 スイング機能  
実行中、カメラは始点に指定されたプリセットポジ  
ションから終点に指定されたプリセットポジ  
ションまで時計回りに動きます。カメラは始点に指定され  
たプリセットから終点に指定されたプリセットまで  
反時計回りに移動します。カメラは終点に指定され  
たプリセットから始点に指定されたプリセットまで  
反時計回りに移動します。
- スイングスピード [001 ~ 180]  
スイングスピードを 1 ~ 180 秒まで設定します。
- スイング削除 [取消 / OK]  
現在のスイングデータを削除します。
- スイング実行  
現在のスイングを実行します。

## パターン設定

〈パターン設定〉	
パターンNO.	001
状態	未設定
パターン取消	取消
ラベル表示	オフ
パターン編集	取消
〈ラベル編集〉	
パターン実行	
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい OPEN：進む CLOSE：退出	

〈カメラ設定〉→〈パターン設定〉

- パターン No [1 ~ 4]  
編集するパターン No を選択します。  
選択されたパターン No が定義されていない場合、  
選択されたパターン No の下に“UNDEFINED”が  
表示されます。
- パターン削除 [取消 / OK]  
現在のパターンデータを削除します。
- ラベル表示 [オン / オフ]
- パターン編集 [OK / 取消]  
OK：パターン機能を編集します。  
取消：パターン機能を実行しません。

## パターン機能

CAM：001	
パターン編集	001
	360.0/180.0/N
OPEN 確定	008 S

- パターン機能  
パターン編集を開始します。ジョイスティック  
を使用して適正なズームで始点に移動します。  
パターン録画を開始するには OPEN キーを押します。  
このメニューを出るには CLOSE キーを押します。  
コントローラーのジョイスティックでカメラはを移動  
させるか、選択されたパターンでパス（たいていは曲  
線）を記憶させるプリセット機能を実行します。ひと  
つのパターンに最大 500 コマンドが保存出来ます。
- ラベル編集  
モニター上に表示するラベルを編集します。  
プリセット実行中、最大 18 文字のアルファベットが  
表示可能です。ラベル編集に入ると“？”カーソルが  
スクリーン上に表示されます。ジョイスティックを  
上下に動かし文字を選択し、左右に動かしてカーソル  
を動かします。入力後“OPEN”キーを押して保存し  
ます。
- パターン実行 現在のパターンを実行します。

## II グループ設定

〈グループ設定〉	
グループ NO.	001
状態	未設定
グループ取消	取消
ラベル表示	オフ
〈グループ編集〉	
〈ラベル編集〉	
グループ実行	
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい	
OPEN : 進む CLOSE : 退出	

〈カメラ設定〉→〈グループ設定〉

- グループ No [1 ~ 8]  
編集するグループ No を選択します。  
選択されたグループ No が定義されていない場合、選択されたグループ No の下に“未定義”が表示されます。
- グループ削除 [取消 / OK]  
現在のグループデータを削除します。
- グループ編集 グループ編集を開始します。
- ラベル編集  
モニター上に表示するラベルを編集します。  
プリセット実行中、最大 18 文字アルファベットが表示可能です。ラベル編集に入ると、“?”カーソルがスクリーン上に表示されます。  
ジョイスティックを上下に動かし文字を選択し、左右に動かしてカーソルを動かします。  
入力後、“OPEN” キーを押して保存します。
- グループ実行 現在のグループを実行します。

## II グループ編集

〈グループ編集〉			
ID	プリセット	速度	停止時間
1	000	240	5秒
2	000	240	5秒
3	000	240	5秒
4	000	240	5秒
5	000	240	5秒
6	000	240	5秒
7	000	240	5秒
8	000	240	5秒
上下移動で項目を選択して下さい			
OPEN : 進む CLOSE : 退出			

〈カメラ設定〉→〈グループ設定〉→〈グループ編集〉

- 1.OPEN を押してツアー設定を開始します。
2. ひとつのツアーに最大 16 個のプリセットが保存可能です  
カーソルを上下に動かし、OPEN キーを押して設定します。
3. アクション、停止時間およびスピード設定はオプションです。  
時間はリバーズ表示されています。カーソルを左右に動かしアイテムや停止時間（3 秒～ 240 秒）を選択します。  
スピード値は 50 ～ 300 です。カーソルを左右に動かしアイテムを選択し、上下に動かして値を変更します。

## II アラーム設定

〈アラーム設定〉	
アラーム起動	オン/オフ
アラーム NO.	001
アラームリアクション	なし
リリースタイム	10 秒
ファン起動温度	45℃
ヒーター起動温度	5℃
戻る	
退出	
上下移動で項目を選択して下さい	
OPEN : 進む CLOSE : 退出	

<カメラ設定> → <アラーム設定>

プリセットポジションのアラーム入力と合わせます。  
ホーム/オートスキャン/グループ/パターン/スイング  
外部センサーが作動している場合、  
カメラはこのアイテムが予め定義されている際にコマンドポジションに  
対応します。

●アラーム起動 [オン/オフ]

オンにすると指定したアラームアクションを実行します。

●アラームNO [001~004]

アラームチャンネルNOを選択します。

●アラームアクション [なし/プリセット/パターン/スウィング/グループ]

それぞれのアラーム入力に対して反応するプリセット  
ポジションを指定します。

●リリースタイム [001~240秒]

アラーム出力タイムは一定の時間まで延長されます。

●ファン起動温度 [20~60℃]

例) ファン起動温度を30℃に設定している場合、  
カメラは30℃以上になるとファンを起動し、温度が  
設定温度よりも5℃以上低くなるとファンを停止します。

●ヒーター起動温度 [-20~10℃]

例) ヒーター起動温度を-10℃に設定している場合、  
カメラは-10℃以下になると過熱を始め、温度が設定  
温度より5℃以上高くなるとヒーターを停止します。

## システム初期化

〈システム初期化〉  
 全データ削除 いいえ / はい  
 表示設定削除 いいえ / はい  
 カメラ設定削除 いいえ / はい  
 モーション設定削除 いいえ / はい  
 編集データ削除 いいえ / はい  
 カメラ再起動 いいえ / はい  
 システム再起動 いいえ / はい  
 戻る  
 退出  
 上下移動で項目を選択して下さい  
 OPEN : 進む CLOSE : 退出

- 全データ削除 表示やカメラやモーション設定などの全ての構成データを削除します。
- 表示設定削除 表示設定を初期化します。
- カメラの設定削除 カメラの設定を初期化します。
- モーション設定削除 モーションの設定を削除します。
- 編集データ削除 プリセットデータ / スイングデータ / グループデータを削除します。
- カメラ再起動 カメラを再起動します。
- システム再起動 システムを再起動します。

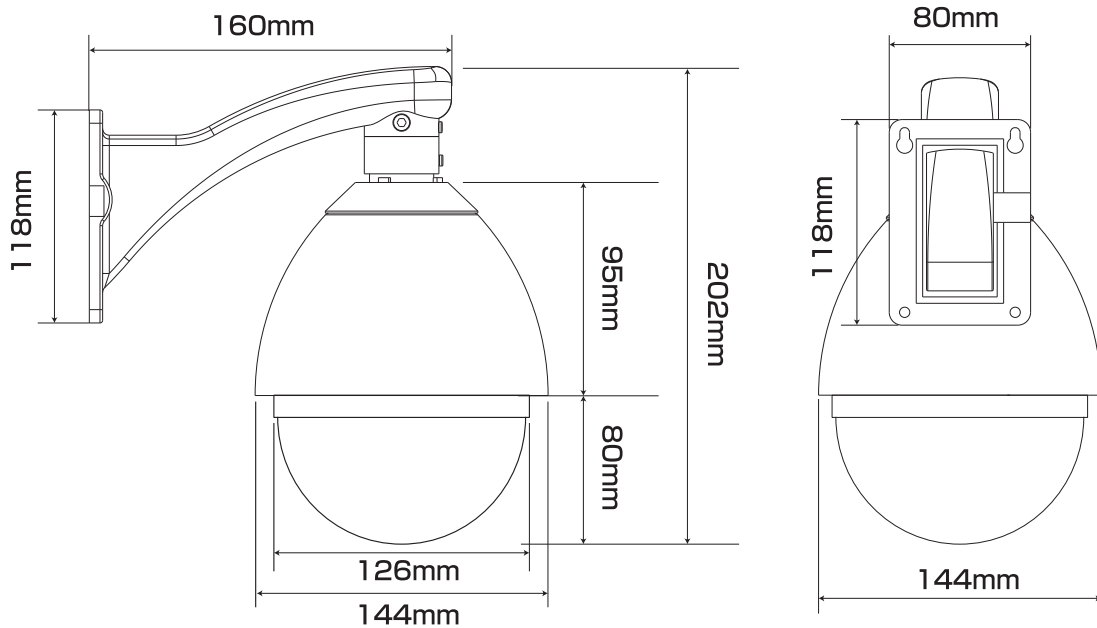
## 初期設定表

表示・設定		カメラ設定	
カメラ ID	オン	フォーカスモード	セミオート
PTZ 座標	オート	アイリスモード	セミオート
アクションタイトル	オート	デジタルズーム	オフ
アラーム入力	オート	デイ&ナイト	オート
温度	オート	ホワイトバランス	オート
<方位設定>		逆光補正	オフ
<プライバシーゾーン>		明るさ	50
		シャッター	DEFAULT
モーション設定		AGC	HIGH
モーションロック	オフ	SSNR	MID DLE
パワーアップアクション	なし	SENS-UP	ON
オートフリップ	オフ	ユーザー編集データ	
ジョグ最速	300°/秒	プリセット1~128	未定義
ジョグ方向	ノーマル	スイング1~8	未定義
プリセット一時停止	オフ	パターン1~4	未定義
パークアクション	なし	グループ1~8	未定義

## 製品仕様

型番	PF-CC805
ビデオ信号システム	NTSC / PAL
CCD	1/4インチ Interline Transfer CCD
最大画素数	41万画素
有効画素数	38万画素
水平解像度	カラー：560TVライン／白黒：680TVライン
S/N比	52 dB(AGC Off)
ズーム	光学12倍、デジタル16倍ズーム
焦点距離	f=3.9~46mm
最低照度	0.02Lux
デイ&ナイト	オート／カラー／モノクロ
フォーカス	オート／マニュアル／セミオート
アイリス	オート／マニュアル／セミオート
AGC	オフ／低／中／高
ホワイトバランス	オート／手動
BLC	高／ノーマル／オフ
SENCE UP	オン／オフ
SSNR	オフ／低／中／高
SSNR パン／チルトスピード	Pan : 360°(エンドレス)
	Tilt : 1~270°(オートフリップ)
プリセット	Go to Preset Speed : 1~300°/秒
	手動 : 0.05~300°/秒
	プリセット数最大127
パターン	4パターン、500コマンド／パターン
スウィング	8スウィング
グループ	8グループ (1グループあたり16プリセット)
方向	逆回転／通常
その他の機能	オートフリップ／オートパーキング／パワーアップアクション
通信	RS-485(9600,4800,2400 Select table or change from OSDメニュー)
プロトコル	Pelco-D, Pelco-P, Auto identify
プライバシーゾーン	8箇所
アラーム入力	4 Input
OSD	Menu / PTZ
ファン&ヒーター	付属
定格出力	DC 12V / 1.1A
寸法	Φ202×144 (H) mm
重量	約1.8kg
動作温度	-30℃～50℃

## 製品図



## アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。  
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

### ■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店にご相談ください。

### 修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番  
（PTZ カメラ PF-CC805 など）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

